

平成28年度

事業計画書

平成28年 4月1日から
平成29年3月31日まで

公益財団法人北海道消防協会

I 消防技術及び消防団員等の資質向上を図るための事業 (公益目的事業1)

1 北海道消防操法訓練大会

(1) 北海道消防操法訓練大会

消防団員の消防技術を練磨し、安全・迅速・確実な連携行動と強固なる消防精神向上のため、北海道と共催で操法訓練大会を実施する。

実施月日	平成28年7月15日(金)
実施場所	北海道消防学校屋外訓練場
実施種目	小型ポンプ操法
出場団	14団(各地方支部1団)

(2) 第25回全国消防操法大会

全国消防操法大会に出場する消防団に対し助成を行う。

実施月日	平成28年10月14日(金)
実施場所	長野県長野市
出場隊	北海道消防操法訓練大会優勝団

2 消防研修事業

(1) 消防団員指導員研修

消防団員の指導者を養成するため、北海道(消防学校)の協力を得て研修会を実施する。

実施予定月	平成28年10月下旬～12月(未定)	2泊3日
実施場所	北海道消防学校	
参加予定人員	50人	

(2) 講習会等の開催、助成及び講師派遣

① 消防団員現地教育訓練

消防団員の資質向上を図るため、北海道と関係機関及び消防本部の協力を得て、消防団員に対する現地教育訓練を行う。

実施予定月	随時	
実施場所	各地方支部1回	合計14回

② 消防団運営方策の普及研修

日本消防協会及び総務省消防庁と連携し、近年問題となっている団員数の減少・高齢化等の諸問題に対応するための研修会を開催し、消防団の充実強化を図る。

実施予定	4地方支部で開催予定
------	------------

③ 消防職員の研修

防災指導の強化及び円滑な消防行政の推進を図るため、消防職員の研修を全国消防長会北海道支部と協賛して実施する。

また、災害時における人命救助の向上を図るため、消防職員に対する救助技術の訓練と指導を全国消防協会北海道地区支部と協賛して実施する。

④ 各種研修会への講師の派遣

北海道(消防学校)及び各地方支部等が主催する消防団員研修会へ講師を派遣し、消防団の現状等の説明を行い、消防団員の資質の向上を図る。

(3) 日本消防協会等が主催する研修会等への参加経費の助成

日本消防協会及び日本防火・防災協会が主催する研修会等へ参加する消防団員、女性防火クラブ員への参加経費の助成を行い、研修を通じた消防団員、女性防火クラブ員の資質の向上と活動能力等の向上を図る。

① 第43回消防団幹部特別研修(日本消防協会)

実施日 平成29年1月10日(火)～13日(金)

実施場所 日本消防会館(東京都)

参加予定者 十勝地方支部から1名(未定)

② 第16回消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会)

実施日 男性の部 平成29年2月1日(水)～3日(金)

女性の部 平成29年2月15日(水)～17日(金)

実施場所 日本消防会館(東京都)

参加予定者 男性の部 空知・上川・留萌地方支部から各1名(未定)

女性の部 空知・上川地方支部から各1名(未定)

③ 第19回市町村女性(婦人)防火クラブ幹部研修会(日本防火・防災協会)

実施日 平成28年6月下旬(未定)

実施場所 ホテルルポール麴町(東京都)

参加予定者 北海道女性防火クラブ連絡協議会理事2名(未定)

④ 平成28年度北海道・東北ブロック女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会(日本防火・防災協会)

実施日 平成28年10月～12月(未定)

実施場所 秋田県

参加予定者 北海道女性防火クラブ連絡協議会会長 1名

Ⅱ 防火防災意識の向上と思想普及のための各種啓発活動を行う事業 (公益目的事業2)

1 消防大会事業

(1) 北海道消防大会

第68回北海道消防大会を網走市において開催し、優良消防団(員)、幼年、少年、婦人(女性)消防クラブ等の消防関係諸団体に対する表彰や、消火や人命救助、予防広報活動に尽力した一般人に係る功績を顕彰することにより、団結の強化と士気の高揚を図るとともに、災害等の消防活動事例の発表や大会の広報を通じて、防火防災意識の高揚を図る。

実施予定日 平成28年8月26日(金)

実施場所 網走市総合体育館

大会参加予定人員 約2,000人

(2) 表彰

- ① 消防職・団員の士気の高揚を図るため、優良消防機関の表彰並びに優良消防職・団員の功績(功労)及び勤続表彰を行う。
- ② 火災予防住民組織の育成強化のため、少年、婦人(女性)消防クラブ等に対する表彰を行う。
- ③ 消防に関する理解と協力を高め、もって一般住民の防災意識の高揚を図るため、消防業務の運営に貢献のあった民間協力団体に対する感謝状の贈呈を行う。

(3) 第22回全国女性消防団員活性化北海道大会

第22回全国女性消防団員活性化北海道大会を札幌市において開催し、全国の女性消防団員の交流を図るとともに、各地域における活動状況の報告等を通し、各地域消防団の活動を活性化させ、地域の安全安心に資する。

実施日 平成28年6月3日(金)～4日(土)

実施場所 大 会：さっぽろ芸術文化の館・札幌市教育文化会館
情報交流会：ホテルロイトン札幌

参加予定人員 約3,600名

2 消防殉職者慰霊祭事業

消防殉職者慰霊祭を札幌市において開催し、火災や災害等の活動により職に殉じた消防団員、消防職員又は防火防災活動に協力して死亡した一般の人々の功績を称え、その遺徳を偲ぶとともに、防火防災意識の高揚と消防活動で再び死亡事故を起こさないための意識を啓発する。

実施日	平成28年6月24日（金）
実施場所	京王プラザホテル札幌
参列予定人員	約200人

3 防火啓発、災害支援の推進、消防設備の充実強化事業

(1) 防火啓発事業

① 防火DVDの活用促進

防火防災思想の普及に寄与するため、防火DVDの貸し出しを行う。

② 着ぐるみ等の貸し出し

各地域で行われる防火フェスティバル等に着ぐるみ等防火啓発物品を貸出し、地域住民の防火防災思想の啓発を行う。

③ 少年婦人（女性）防火協議会育成強化対策事業

- ・ 道内1地区において、女性防火クラブの地区大会を開催し、地区における民間防火組織の拡充強化を図る。
- ・ 全道女性防火クラブ指導者研修会を札幌市において開催し、防火クラブ指導員の養成と資質の向上を図る。

④ 女性防火クラブ連絡協議会育成強化対策事業

「道婦防だより」を発行し、全道の防火クラブ員の防災意識の向上と、資質の強化を図る。

(2) 防火・防災に関する作品コンクール

防火・防災に関する作品（防火ポスター・作文）コンクールを、北海道と共催で開催し、若年層の防火意識の高揚と啓発を図るとともに、消防団に対する興味を持たせることにより、将来的な団員の確保に資する。

(3) 災害支援事業

大規模災害等が発生した場合、被害を受けた被災地への支援や、復旧活動等を行う地元消防等に対し支援金等の給付を行う。

(4) 消防設備の充実強化事業

住宅用火災警報器の設置率向上のため、普及啓発グッズ等を作成、配布を行う。

4 北海道消防新聞発行业

北海道消防新聞を毎月23,000部発行し、会費を納入していただいた消防職・団員をはじめ、市町村防災担当部局、民間防火組織等は無償配布し、防災意識の向上と、地域住民への防火・防災思想の普及啓発を図る。

5 消防に関する調査研究事業

消防職・団員数調査など、消防に関する調査を行い、北海道消防新聞やホームページ等で公表し、地域消防の研究等に資する。

Ⅲ その他の事業（相互扶助等事業）

1 消防互助事業

消防団員及び消防職員の福利厚生事業として、見舞金給付及び本会役員等の退会者に対し顕彰を行う。

また、消防殉職者遺族会の運営を援助するとともに、遺族交流会の開催、会報の発行などご遺族の福祉増進を図る。

2 加入促進事業

複雑多様化する各種災害に対処するため、全道各地で地域の実情に即した消防団の活性化対策事業を推進するとともに、各地域における消防団員確保のための勧誘に使用するグッズ、広報紙等の作成やイベント等に要する費用を助成し、消防団の加入促進を図る。

3 地方支部推進事業

各地方支部が実施する事業の円滑かつ積極的な推進を期するため助成を行う。

4 日本消防協会が実施する共済事業等

日本消防協会が実施する共済・各種事業に対し、連携を緊密化し効果的な推進に努める。

IV 会議の開催

1 役員会（理事会・評議員会）

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 平成28年6月7日（火） | 理事会 |
| (2) 平成28年6月24日（金） | 評議員会・理事会 |
| (3) 平成29年3月17日（金） | 理事会・評議員会 |

2 地方支部長会議

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) 平成28年7月15日（金） | (北海道消防操法訓練大会終了後) |
| (2) 平成29年3月17日（金） | (理事会・評議員会開催前) |

3 地方支部事務局長会議

平成28年5月31日（火）